

アジア国際経済フォーラムにおける藺浦外務副大臣の開会の辞

２０１７年４月１４日（金）１０：００～（日英同時通訳）

於：品川プリンスホテル（東京都港区）

アンヘル・グリアＯＥＣＤ事務総長

西村英俊・東アジア・ＡＳＥＡＮ経済研究センター（ＥＲＩＡ）事務総長

チュー・ファム・ゴック・ヒエン・ベトナム天然資源環境省副大臣

アルミダ・アリシャバナ前インドネシア国家開発庁長官

ＯＥＣＤ議員連盟の皆様

御列席の皆様

本日は、アジア国際経済フォーラムにお集まりいただき、心から感謝申し上げます。

我が国は、昨年ＯＥＣＤ開発センターに１６年ぶりに復帰し、メンバーとして、また最大拠出国の一つとして、開発センターがアジア関係の活動を活発化することを支援いたします。

そして、本日はＯＥＣＤ開発センター、ＥＲＩＡと共催で、グリア事務総長の出席も得て、我が国の開発センター復帰を契機に、アジアに関する初のＯＥＣＤによる国際経済フォーラムを東京で開催することができ、大変喜ばしく思います。

OECDによるアジアへのアウトリーチ活動は、我が国として非常に重視しています。私自身も、2015年3月にインドネシアで開催された第2回「OECD東南アジア地域フォーラム」に出席し、アジアからの初の加盟国として、我が国自身の経験から、OECDが東南アジア地域の発展に貢献できると確信していると申し上げました。

我が国としては、こうした取組を通じ、OECDとアジアの橋渡しを更に進めたいと考えています。

アジアは近年大きな発展を遂げましたが、未来に向けて更に前進するためには、中進国の罫を含む様々な課題に対処する必要があります。アジアが諸課題を克服し、質の高い成長を実現するためには、OECDが有する知見や分析、政策提言が有益なインプットになると考えております。同時に、アジアの発展経験をOECDを通じて世界に共有することは、今も貧困に苦しむ世界の各地域の成長に資するものと考えています。このように、アジアとOECDとの協力関係の深化は、ウィン・ウィンの効果をもたらすでしょう。

我が国は、質の高いインフラ整備を積極的に推進しています。そのためには、公的、民間双方の資金供給を量的に拡大するとともにインフラの質の確保も重要であります。このようなインフラ整備を促進するための国際スタンダード作りに向けて、OECDとともに更に協力していきたいと考えております。

アジアを含む国際社会の安定と繁栄には、公正かつ自由で開かれた国際秩序を維持・強化することが重要です。この観点から、我が国としてはインフラの開放性や公平性を重視しております。また、新興国を含む途上国のインフラ整備に関する協力は、経済性、そして財政の健全性に十分配慮して行う必要があります。

本日のフォーラムが、アジアとOECDが互いに学び合う場になるとともに、今後の国際社会での取組をリードするような発想が生まれる活発な議論が行われることを祈念しつつ私からの開会の辞とさせていただきます。

ありがとうございました。

(了)